

調査票・単純集計データ

＜ご回答にあたってのお願い＞

- ご回答をお願いした方ご自身名義で保有する金融商品についてお答えください。
- 預貯金など、ご家族で共有していて持ち分の区分が困難な金融商品の金額についてお尋ねする質問については、ご自分の持ち分と思われる金額をお答えください。
- 質問にしたがって、選択肢のあてはまる番号に○をつけてください。
- 金融商品ごとにご回答いただく質問では、下表の区分に従ってお答えください。

【主な金融商品表】

・ 預貯金	→	銀行預金（円貨、外貨）、ゆうちょ銀貯金（郵便貯金）など
・ 信託	→	貸付信託、金銭信託、教育資金贈与信託、遺言信託など
・ 株式	→	株式（株式ミニ投資、株式累積投資、従業員持ち株制度を含む）、新株予約権など（外国で発行されたものを含む）
・ 投資信託	→	株式投資信託、公社債投資信託、MMF、MR F、E T F（上場投資信託）、不動産投資信託（R E I T）など（外国で発行されたものを含む）
・ 公社債	→	国債、地方債、社債、転換社債、金融債、仕組債など（外国で発行されたものを含む）
・ 有価証券関連デリバティブ商品	→	有価証券関連の先物取引、オプション取引、C F D取引、バイナリー・オプション取引など（日経 225 先物、JPX 日経 400 先物、日経 225 オプション、日経 225mini など）
・ 有価証券関連デリバティブ商品 以外のデリバティブ商品	→	外為証拠金取引（F X）、C F D取引、バイナリー・オプション取引、商品先物取引など

〔 1 〕 金融商品の保有実態や金融資産への意識などについて お伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 1 次の金融商品のうち、あなたが現在保有しているものをお答えください。ご回答にあたっては、前ページに記載の【主な金融商品表】をご参照ください。（いくつでも） 【n=7,000】

1. 預貯金（普通預金、当座預金や定期預金など）	91.9
2. 信託	1.6
3. 株式	13.0
4. 投資信託	9.0
5. 公社債	3.6
6. 有価証券関連デリバティブ商品	0.2
7. 有価証券関連デリバティブ商品以外のデリバティブ商品	0.3
8. その他（具体的に ）	0.4
9. いずれも持っていない →選択肢「9」を選んだ方は、問8へお進みください。	7.6

(NA:0.0)

【いずれかの金融商品をお持ちの方に（問1で、「1～8」に○印の方）】

問 2 あなたが現在保有している金融資産の合計額はいくら位ですか。預貯金及び信託以外については時価でお答えください。（1つだけ） 【n=6,471】

1. 10 万円未満	9.9	6. 500 ～1,000 万円未満	12.9
2. 10 ～ 50 万円未満	13.4	7. 1,000～3,000 万円未満	10.1
3. 50 ～ 100 万円未満	11.5	8. 3,000～5,000 万円未満	1.7
4. 100～ 300 万円未満	19.1	9. 5,000 万円以上	1.0
5. 300～ 500 万円未満	13.0		

(NA:7.5) 【平均値】572.4 万円

問 3 そのうち、有価証券（株式、投資信託、公社債）の保有額（問1の選択肢3・4・5に該当する商品の合計額）はいくら位ですか。時価でお答えください。（1つだけ） 【n=6,471】

1. 10 万円未満	2.1	6. 500 ～1,000 万円未満	2.7
2. 10 ～ 50 万円未満	2.3	7. 1,000～3,000 万円未満	2.3
3. 50 ～ 100 万円未満	2.8	8. 3,000～5,000 万円未満	0.4
4. 100～ 300 万円未満	4.7	9. 5,000 万円以上	0.2
5. 300～ 500 万円未満	2.6		
		10. 有価証券は保有していない	74.4

(NA:5.6) 【平均値】578.3 万円

問4 あなたは、月々の収入、及びボーナスから、それぞれ何パーセント位を金融商品（預貯金で、日常的な入出金、口座引落しに備えた部分を除きます。）にまわしていますか。（それぞれ1つずつ）
【n=6,471】

		1～ 10% 未満	10～ 20% 未満	20～ 30% 未満	30～ 50% 未満	50% 以上	金融商品 にはまわ していない	該当する 収入は ない	(NA)	【平均値】
a. 月々の収入は (給与・年金など(注))	→	26.3	12.9	5.0	2.2	2.0	32.1	17.8	(1.6)	13.7%
b. ボーナスは	→	9.5	5.3	3.1	2.2	2.9	16.1	57.2	(3.7)	20.2%

(注) 月々の収入の具体例は20 ページの設問F 5をご参照ください。

問5 預貯金や有価証券などの金融資産を保有する目的をお答えください。（いくつでも）

【n=6,471】

1. 将来・老後の生活資金	66.2
2. 子供や孫の教育資金	28.3
3. 住宅の取得	4.2
4. 結婚費用の捻出	2.9
5. レジャー（スポーツ、旅行など）費用の捻出	21.5
6. 将来の不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え	39.3
7. 現金の盗難対策	3.5
8. その他（具体的に	1.7
9. 特に目的はない	12.6

(NA:0.6)

問6 あなたは、金融商品のどのような点を重視しますか。（いくつでも）

【n=6,471】

1. 利回りが良いこと	26.0
2. いつでも出し入れができること	49.6
3. 元金が安全なこと	42.0
4. 値上がりが期待できること	9.3
5. 税金面で有利になること	4.4
6. 各種料金の自動引落などに利用できること	12.3
7. インターネットで取引できること	5.7
8. その他（具体的に	0.4
9. 特に重視していることはない	20.8

(NA:0.9)

問7 あなたは今後、次の金融商品を購入したいと考えていますか。（それぞれ1つずつ）【n=6,471】

		今後1年以内に 購入したい	時期は未定だが 購入してみたい	今のところ 購入するつもりはない	(NA)
a. 株式	→	4.2	8.5	86.1	(1.1)
b. 投資信託	→	2.2	6.5	89.9	(1.3)
c. 公社債	→	0.5	4.1	93.8	(1.5)

【全員にお伺いします。】

問 8 あなたが興味を持っている金融商品を、現在保有しているものも含めてお答えください。

(いくつでも)

【n=7,000】

1. 預貯金	58.1
2. 信託	2.9
3. 株式	16.6
4. 投資信託	10.6
5. 公社債	3.6
6. 有価証券関連デリバティブ商品	0.6
7. 有価証券関連デリバティブ商品以外のデリバティブ商品	0.7
8. その他（具体的に	0.4
9. 興味を持っている金融商品はない	33.8

(NA:0.5)

問 9 あなたは、金融資産を増やすために、証券投資（株式・投資信託・公社債への投資）が必要だと思いますか。（1つだけ）

【n=7,000】

1. 必要だと思う	23.7	→選択肢「1」を選んだ方は、問10-1へお進みください。
2. 必要とは思わない	75.8	→選択肢「2」を選んだ方は、問10-2へお進みください。

(NA:0.5)

【「証券投資が必要」とお答えの方に（問9で、「1」に○印の方）】

問10-1 必要だと思う理由は何ですか。（いくつでも）

【n=1,657】

1. 将来の生活資金として準備できるから	43.8
2. 現在の保有額では将来の生活に不安だから	26.2
3. 預貯金だけでは十分な利息を期待できないから	66.4
4. 将来のインフレに備えることができるから	11.3
5. その他（具体的に	2.4
6. 特に理由はない	4.9

※ 回答後、問11へお進みください。

(NA:0.0)

【「証券投資は必要ない」とお答えの方に（問9で、「2」に○印の方）】

問10-2 必要とは思わない理由は何ですか。（いくつでも）

【n=5,308】

1. 損する可能性があるから	38.0
2. リスクを取りたくないから	33.3
3. ギャンブルのようなものだから	21.8
4. 金融や投資に関する知識を持っていないから	38.5
5. その他（具体的に	2.8
6. 特に理由はない	25.2

(NA:0.5)

〔2〕金融商品の知識などについてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 11 あなたは、少額投資非課税制度（NISA）（注）についてご存知ですか。（1つだけ）
また、NISA 口座で投資をしている方は、その投資額（残高）を 200 万円以内でお答えください。
【n=7,000】

1. NISA 口座を開設し、NISA 口座で投資をしている→	【平均値】106.1 万円	5.6
2. NISA 口座を開設しているが、NISA 口座で投資をしたことはない		3.9
3. NISA の内容を理解しており、今後、NISA 口座を開設したい		1.8
4. NISA の内容を理解しているが、NISA 口座を開設するつもりはない		6.1
5. NISA という言葉を聞いたことがあり、興味を持っている		5.6
6. NISA という言葉を聞いたことはあるが、興味はない		28.4
7. 知らない	→選択肢「7」を選んだ方は、問 16 へお進みください。	48.3

(NA:0.3)

（注）少額投資非課税制度（NISA）とは、平成 26 年 1 月から導入され、平成 26 年～35 年の 10 年間、NISA 口座を開設することができ、年間 100 万円（非課税投資額）まで上場株式・ETF（上場投資信託）、REIT（不動産投資信託）、株式投資信託などへの投資による配当金・分配金や売買益が 5 年間非課税となるものです。

【NISA という言葉をご存じの方に（問 11 で、「1～6」に○印の方）】

問 12 あなたが、少額投資非課税制度（NISA）を知ったきっかけは何ですか。（いくつでも） 【n=3,598】

1. テレビの報道・情報番組などで見た	69.3
2. ラジオの報道・情報番組などで聞いた	5.8
3. 新聞記事・広告で読んだ	26.6
4. 雑誌記事・広告で読んだ	7.2
5. インターネットで見つ	11.3
6. 証券会社、金融機関の窓口、営業員からの説明	21.3
7. 証券会社、金融機関の店舗にあるポスター・リーフレットを見た	8.5
8. 家族、親戚、友人、知人から聞いた	9.4
9. その他（具体的に）	1.8

(NA:0.8)

※ NISA に興味がある方（問 11 で、選択肢「5」を選んだ方）は、問 16 へお進みください。

※ NISA に興味がない方（問 11 で、選択肢「6」を選んだ方）は、問 15 へお進みください。

【NISA の内容を理解している方に（問 11 で、「1～4」に○印の方）】

問 13 あなたが、少額投資非課税制度（NISA）について、ご存知のことをお答えください。（いくつでも）
【n=1,217】

1. 平成 26 年 1 月に、平成 35 年までの 10 年間の措置として導入された	49.2
2. 非課税投資額は年間 100 万円であるが、平成 28 年分から 120 万円に拡大される	46.4
3. 上場株式・ETF（上場投資信託）、REIT（不動産投資信託）、株式投資信託などへの投資による配当金・分配金や売買益が 5 年間非課税となる	48.1
4. 上場株式等に係る配当金等の受取方法について株式数比例配分方式を選択しないと非課税の適用を受けられない	14.9
5. 平成 27 年 1 月から、NISA 口座の証券会社・金融機関を年単位で変更することが可能となった	18.5
6. 平成 28 年 4 月から、未成年者用の少額投資非課税制度（ジュニア NISA）が導入される	14.5
7. その他（具体的に）	1.3

(NA:9.0)

※ NISA 口座で投資している、または、NISA 口座を開設したい方（問 11 で、選択肢「1」または「3」を選んだ方）は、問 16 へお進みください。

※ NISA 口座を開設するつもりはない方（問 11 で、選択肢「4」を選んだ方）は、問 15 へお進みください。

【NISA 口座を開設しているが、投資をしたことがない方に（問 11 で「2」に○印の方）】

問 14 少額投資非課税制度（NISA）の口座を開設したものの、これまで NISA 口座で投資をしなかった理由は何ですか。（いくつでも） 【n=274】

1. 市場動向により、投資時期を見極めているため	18.2
2. 投資商品を見極めているため	21.9
3. 投資する資金が確保できなかったため	25.5
4. 口座開設手続までの間に投資意欲がなくなってしまったため	11.7
5. 営業員からの勧誘がなかったため	6.9
6. 非課税投資額が少額である（投資したい商品の時価が非課税投資額の上限を超えているなど）ため	6.6
7. 投資した商品を売却しても、損益通算ができないため	5.5
8. 投資した商品を売却しても、当該商品の買付時の非課税投資額の枠を再投資に利用できないため	2.9
9. 銀行に NISA 口座を開設したが、株式に投資しようと考えているため	4.7
10. 投資の方法が良く分からないため	17.9
11. 口座開設キャンペーンの景品を目的としていたため	8.8
12. その他（具体的に	9.9

※ 回答後、問 16 へお進みください。

(NA:5.1)

【NISA 口座を開設するつもりはない、または、言葉は聞いたことあるが興味はない方に（問 11 で、「4」または「6」に○印の方）】

問 15 少額投資非課税制度（NISA）の口座を開設するつもりはない、または、NISA に興味がない理由は何ですか。（いくつでも） 【n=2,413】

1. NISA について良く分からないため	43.0
2. NISA 口座の開設手続が面倒であるため	9.7
3. NISA の非課税投資額が少額である（投資したい商品の時価が非課税投資額の上限を超えているなど）ため	3.4
4. 投資した商品を売却しても、損益通算できないため	3.0
5. 投資した商品を売却しても、当該商品の買付時の非課税投資額の枠を再投資に利用できないため	1.5
6. NISA 口座を開設すると、通常の口座との二重の管理が煩わしいため	5.5
7. NISA は自身の投資スタンスに合わないため	4.7
8. ラップ口座を利用しているため	0.0
9. 証券投資をするつもりがないため	57.8
10. その他（具体的に	2.8

(NA:2.5)

【全員にお伺いします。】

問 16 あなたは、現在、確定拠出年金制度（注）に加入していますか。（１つだけ） 【n=7,000】

1. 加入している（企業型・個人型）	13.2
2. 加入していない	58.8
3. わからない	27.7

(NA:0.3)

（注）確定拠出年金制度（いわゆる「日本版 401k」）は、加入者や加入者が勤めている企業が資金を出して積立てを行い、その積立金を加入者自らが投資信託や預金などで運用し、運用の結果に応じた積立額を老後に年金として受け取る制度です。確定拠出年金には、この制度を実施する企業に勤務する人が加入できる【企業型】と、自営業者や企業年金がなく、かつ、この制度を実施しない企業に勤務する人が加入できる【個人型】の２種類があります。

問 17 あなたは証券投資（株式・投資信託・公社債への投資）に関する知識を習得する場合、どのような知識を得たいですか。（いくつでも） 【n=7,000】

1. 個別の有価証券の仕組みやリスクに関する知識	22.4
2. 証券取引の始め方に関する知識	11.6
3. 証券税制の仕組みに関する知識（NISA を含む）	11.7
4. 経済における証券市場の役割に関する知識	5.5
5. 経済に関する全般的な知識	12.8
6. 個別企業を分析するための知識	9.0
7. その他（具体的に ）	0.3
8. わからない	15.5
9. 知識は必要ない → 選択肢「9」を選んだ方は、問 19 へお進みください。	50.7

(NA:0.3)

【証券投資に関する知識を習得したいとお答えの方に（問 17 で、「1～8」に○印の方）】

問 18 あなたは証券投資に関する知識を習得する場合、どのような方法が良いと思いますか。

（いくつでも） 【n=3,429】

1. 大学などが実施する無料の生涯教育講座やセミナーへの参加	18.4
2. 証券会社や金融機関の担当者からの説明	35.1
3. 証券会社や金融機関の冊子やパンフレットからの情報	19.4
4. 金融専門誌や書籍からの情報	17.9
5. インターネットからの情報	28.5
6. アプリ・動画からの情報	4.3
7. 新聞やテレビ、ラジオからの情報	24.4
8. 投資クラブ（注）などで勉強する	4.1
9. わからない	23.2

(NA:3.0)

（注）「投資クラブ」とは、仲間どうしで少人数（数名から 20 名程度まで）のクラブをつくり、全員で投資の学習を行うとともに、学習の成果をもとに小口の資金を出し合って共同で投資方針や購入銘柄を決定し、実際に投資経験を積みながら、投資に関して学んでいく方法のことです。

【全員にお伺いします。】

問 19 あなたは、これまで学校、職場や家庭で証券投資に関する教育を受けたことがありますか。

(1つだけ)

【n=7,000】

1. 受けたことがある	6.6
2. 受けたと思うが、あまり覚えていない	11.2
3. 受けていない	82.1

(NA:0.2)

問 20 日々の生活に関連した金融の基礎知識や経済の仕組みについて、あなたはいつ頃から学び始めるべきだと思いますか。(1つだけ)

【n=7,000】

1. 小学校入学前から	0.4
2. 小学校から	8.4
3. 中学校から	23.6
4. 高等学校から	26.4
5. 大学・専門学校から	10.5
6. 社会人から	15.0
7. その他（具体的に	1.3
8. 必要ないと思う	13.8

(NA:0.7)

問 21 あなたは、証券投資全般についてどのようなイメージをお持ちですか。(いくつでも) 【n=7,000】

1. 資産運用の一環	43.5
2. 将来の生活資金の蓄えに役立つ	13.5
3. 経済・金融の知識が身につく	18.0
4. 社会貢献に役立つ	2.1
5. 難しい	36.2
6. お金持ちがやるもの	29.5
7. ギャンブルのようなもの	27.6
8. なんとなく怖い	28.0
9. しつこく勧誘される	10.1
10. その他（具体的に	2.2

(NA:0.7)

問 22 あなたは、証券投資を行う場合、どのような情報を参考にしますか。(いくつでも) 【n=7,000】

1. 新聞・雑誌などで得た情報	30.6
2. テレビ・ラジオで得た情報	20.9
3. 証券会社・金融機関などの投資情報サイト（メルマガを含む）	15.6
4. 評価会社・格付け会社などのサイト（メルマガを含む）	6.2
5. ヤフーなどのインターネット掲示板	8.9
6. ソーシャル・メディア（Facebook や Twitter など）	2.4
7. 証券会社・金融機関などが発行する資料	16.7
8. 企業から提供される情報（プレスリリース、目論見書など）	7.6
9. 講演会や懇談会などの話	4.1
10. 営業員の説明や意見・助言	12.4
11. 家族・親戚・友人・知人の意見・助言	14.5
12. 有価証券の価格の動き（株価など）	14.6
13. その他（具体的に	1.7
14. わからない	41.4

(NA:0.6)

問 23 あなたが安心して証券投資を行ううえで、特に強化すべきと思うことは何ですか。（いくつでも）
【n=7,000】

1. 不公正な取引などへの厳格な対応	43.5
2. 高齢者などへの適切な勧誘ルール	27.9
3. 悪質な業者・営業員の排除	52.7
4. 上場企業に対するチェック機能の強化	12.8
5. 最低限身に付けるべき金融リテラシー習得の支援	15.1
6. 金融商品の特徴や留意点などを無料で相談できる窓口の提供	26.3
7. 購入後のアフターケア	32.7
8. その他（具体的に	5.2

(NA:4.9)

問 24 あなたは「未公開株・社債などの詐欺」についてご存知ですか。（１つだけ）
【n=7,000】

1. 知っている	16.3
2. 聞いたことはある	37.2
3. 勧誘されたことがある	1.0
4. 知らない	44.7

(NA:0.7)

問 25 あなたは以下の機関をご存知ですか。（それぞれ１つずつ）
【n=7,000】

		業務内容を含め 知っている	名前を知っている 程度	知らない	(NA)
A.証券取引等監視委員会	→	5.1	33.5	60.6	(0.7)
B.日本投資者保護基金	→	1.4	10.9	86.6	(1.1)
C.日本証券業協会	→	3.9	31.0	64.2	(0.9)
D.東京証券取引所	→	15.8	58.0	25.8	(0.5)
E.証券・金融商品 あっせん相談センター (FINMAC)	→	1.1	9.2	88.8	(1.0)

(注) 上記機関の主な業務は以下のとおりです。

- 証券取引等監視委員会…日常的な市場監視や証券会社等に対する検査、インサイダー取引等の不公正取引についての取引調査、有価証券報告書等についての開示検査のほか、取引の公正を害する犯則事件の調査にあたっています。また、市場において不正が疑われる情報や投資に関する詐欺行為等の情報を幅広く受け付けています。
- 日本投資者保護基金…証券会社が経営破たんした際に、顧客から預かっていた有価証券・金銭（＝顧客資産）の返還が困難になってしまった場合に、一人あたり上限 1,000 万円の範囲で金銭による補償を行う機関です。（なお、そもそも証券会社は、顧客資産を自社の資産と区別して管理することが法律上義務付けられています。これを「分別管理義務」といいます。証券会社に預けてある顧客資産は分別管理義務と投資者保護基金による補償制度の 2 重のセーフティネットにより守られています。）
- 日本証券業協会…証券会社及び銀行等の登録金融機関を協会員として、①自主規制業務（協会員に適用される規則の制定・実施、監査、制裁等）、②金融商品取引業及び金融商品市場の発展に資する業務（調査研究、意見表明、統計の公表等）、③国際業務と国際交流（国際会議への参加、日本市場の海外プロモーション等）を主な業務とする機関です。
- 東京証券取引所…株式等の有価証券の売買を行うための市場施設の提供、相場の公表及び有価証券の売買の公正の確保等に係る業務を行う機関です。
- 証券・金融商品あっせん相談センター…株や投資信託、FX など金融商品の取引に関するトラブルについて、相談や苦情を受け付け、公正・中立な立場で解決を図る機関です。相談・苦情処理で利用者の納得が得られない場合の制度として、弁護士による紛争解決のためのあっせん制度も運営しています。

〔3〕証券会社についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 26 あなたが「証券会社」について、ご存知のことをお答えください。（いくつでも）【n=7,000】

1. 顧客の株式などの売買注文を証券取引所に取り次いでいる	53.9
2. 自ら株式などの売買を行っている	28.6
3. 公社債や投資信託を販売している	30.6
4. 企業の資金調達が円滑となるよう支援している	8.6
5. 投資セミナーを開催している	26.8
6. 顧客の金銭・有価証券を自社の固有資産と分けて分別管理している	6.8
7. 自己資本規制比率（注2）を維持しながら業務を行っている	3.7
8. 行政（証券取引等監視委員会など）や自主規制機関（日本証券業協会など）の検査を受けている	7.9
9. 上記の中で知っていることはない	34.4

(NA:0.3)

（注1）1～6は、証券会社の業務の一例であり、各証券会社の業容により、行っていないこともあります。

（注2）「自己資本規制比率」とは、証券会社の経営の健全性を測る指標であり、法令により120%を下回ることはないよう義務付けられています。

問 27 あなたは証券会社について、どのようなイメージをお持ちですか。（いくつでも）【n=7,000】

1. 積極的である	11.3
2. 身近である	3.5
3. 信頼できる	3.9
4. 社会の役に立つ	4.3
5. 経済情報を発信している	27.5
6. 将来性がある	2.0
7. 勧誘がしつこい	14.6
8. 敷居が高い	41.1
9. あまり信頼できない	31.4
10. その他（具体的に	6.8

(NA:1.8)

問 28 現在、あなたは証券会社と取引していますか。（1つだけ）

また、取引している方はその会社数及び特定口座（注）を開設している会社数をお答えください。

【n=7,000】

1. 現在取引している	→ 【平均値】 1.4 社		
【そのうち特定口座	→ 【平均値】 1.2 社]	12.5	→ 問 29 へお進みください。
2. 以前取引していたが、現在は取引していない		7.6	→ 問 31 へお進みください。
3. これまでに取引したことがない		79.5	→ 問 33 へお進みください。

(NA:0.4)

（注）特定口座とは、上場株式や投資信託などで資産運用している個人投資家の譲渡損益についての納税
手続を簡易にする証券会社の口座のことです。

【現在、証券会社と取引している方に（問 28 で、「1」に○印の方）】

問 29 取引している証券会社についてお伺いします。その証券会社を選んだ理由をお答えください。

（いくつでも）

【n=874】

1. 信用のある会社だから	46.1
2. 自宅や勤め先の近くにあるなど立地が便利だから	20.9
3. 家族・親戚・友人・知人が勤めているから	20.0
4. 営業員が良い情報を知らせてくれたから	16.6
5. 親しみやすい、または、信頼できる営業員がいるから	9.5
6. オンライン取引（インターネット取引）があるから	25.9
7. オンライン取引のサイトが使いやすいから	9.6
8. その会社でしか扱っていない商品やサービスがあるから	4.7
9. 売買手数料などが安い（無料）など、取引条件が良かったから	13.6
10. その他（具体的に	8.9

(NA:0.3)

問 30 あなたは、証券会社と主にどのような方法により取引をしていますか。（1つだけ）【n=874】

1. 店頭における営業員との対面または店舗などへの電話などにより取引をしている	58.1
2. インターネット（モバイルサイトを含む）を利用して取引をしている	33.9
3. その他（具体的に	6.6

※ 回答後、問 34 へお進みください。

(NA:1.4)

【証券会社と以前取引していたが、現在は取引していない方に（問 28 で、「2」に○印の方）】

問 31 証券会社との取引をやめられたのはどのような理由からですか。（いくつでも） 【n=530】

1. 以前損をした（または期待したような利益が得られなかった）から	44.2
2. 資金がなくなった（または現金が必要になった）から	33.2
3. 証券会社のサービス（営業員の説明、購入後のアフターケアを含む）がよくなかったから	8.3
4. 証券会社と取引する時間がなくなったから	6.4
5. 担当していた営業員が代わったから	10.9
6. 証券会社や証券会社の担当者が信用できないから	5.8
7. 銀行、投信会社との証券取引に変更したから	5.8
8. 預金や保険など銀行や保険会社の金融商品による運用に変更したから	20.6
9. 金融資産保有額が目標とする額に達し、証券会社で運用する必要がなくなったから	1.9
10. その他（具体的に）	9.2

(NA:1.1)

問 32 あなたは、今後どのような条件が整えば、証券会社との取引を再開することを考えますか。

（いくつでも）

【n=530】

1. 有価証券を購入する資金ができたなら	27.0
2. 証券投資に関する知識が増えたら	10.2
3. 興味のある商品やサービスが提供されたら	12.8
4. 有価証券を購入する手続きが簡単になったら	3.0
5. 証券会社が自宅や勤務先の近くにできたら	0.9
6. 休日や平日夜間に投資相談ができるようになったら	2.6
7. 証券会社の手数料が下がったら	5.5
8. 信頼できる証券会社や証券会社の担当者ができたら	8.7
9. 少額投資非課税制度（NISA）が使いやすくなったら	5.1
10. ジュニア NISA 制度が導入されたら	0.4
11. その他（具体的に）	1.5
12. 証券会社と取引するつもりはない	52.8

※ 回答後、問 34 へお進みください。

(NA:1.3)

【これまで証券会社と取引したことがない方に（問 28 で、「3」に○印の方）】

問 33 あなたは、今後どのような場合に証券会社と取引しようと考えますか。（いくつでも） 【n=5,567】

1. 老後や教育などの将来に備え、資金運用の必要性を感じたとき	7.6
2. 有価証券を購入する資金ができたとき	8.9
3. 休日や平日夜間に投資相談ができるようになったとき	1.2
4. ジュニア NISA 制度が導入されたとき	0.3
5. 証券会社のイメージがより良くなったとき	2.2
6. 証券投資に関する知識を習得したとき	11.3
7. 生活に余裕ができたとき	19.2
8. インフレが進んだとき	0.8
9. その他（具体的に）	0.5
10. 全く考えていない	70.9

(NA:0.2)

〔４〕株式についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 34 「株式」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

1. 株式会社が事業資金の調達などのために発行するものである	49.1
2. 株主になると株主優待や配当金を受け取れることがある	67.7
3. 経営状態や資産価値を測る指標として PER、PBR、ROE などがある	9.1
4. 株式累積投資や株式ミニ投資（注）など少額で投資する方法もある	12.2
5. 昨年 10 月末、年金積立金管理運用独立行政法人（G P I F）が運用資産に占める株式の割合を引き上げる旨公表した	4.8
6. 今秋に日本郵政株式会社株式が東京証券取引所に上場する予定である	14.7
7. 上記の中で知っていることはない	26.7

(NA:0.6)

（注）株式累積投資とは、毎月少額で定時定額の積立てを行うものであり、株式ミニ投資とは、通常の買付けに必要な額の 10 分の 1 の資金で行うものです。

問 35 あなたは、これまでに株式（上場株・非上場株を含めて）を保有したことがありますか。（１つだけ）
また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。

【n=7,000】

1. 現在持っている → 【平均値】 3.3 銘柄	12.7	→ 問 36 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない	8.0	
3. これまでに持ったことがない	79.0	→ 問 39 へお進みください。

(NA:0.4)

【これまでに株式を持ったことがある方に（問 35 で、「１」または「２」に○印の方）】

（株式を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 36 はじめてあなたが株式を購入したのは、どのようなきっかけからですか。（いくつでも）

【n=1,447】

1. 証券会社に勧められて	20.9
2. 銀行に勧められて	5.3
3. 家族・親戚・友人・知人に勧められて	33.2
4. 株式に関する講演会を聞いて	2.3
5. まとまった資金ができて	15.7
6. 従業員持株会または役員持株会などに加入して	28.5
7. 株式投資を取り上げたテレビ番組を見て	3.7
8. 新聞・雑誌で株式投資に関する記事を見て	11.2
9. インターネットで株式投資に関する記事を見て	7.8
10. 証券会社の広告・ダイレクトメールなどを見て	1.1
11. 少額投資非課税制度（NISA）が始まったことを知って	2.1
12. その他（具体的に	10.0

(NA:0.5)

問 37 あなたが株式を購入した理由をお答えください。（いくつでも） 【n=1,447】

1. 短期の値上がり益を期待して	33.1
2. 長期にわたっての資産運用として	33.7
3. 配当がもらえるから	48.4
4. 株主優待が受けられるから	31.2
5. その企業を応援できると考えたから	12.2
6. 株主総会でその企業に意見や質問ができるから	1.2
7. 従業員持株会または役員持株会などに加入したから	23.2
8. 少額投資非課税制度（NISA）で資産形成を始めようと思ったから	2.8
9. 株式投資に関する指標（ROE など）に魅力を感じたから	1.4
10. その他（具体的に	5.5

(NA:1.0)

問 38 あなたが株式投資で不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。（いくつでも） 【n=1,447】

1. 期待したほどの配当がなかった	33.9
2. 証券会社からの情報提供が十分でなかった	12.8
3. 証券会社からの連絡に振り回された	5.5
4. 発行会社からの情報が十分でなかった	3.7
5. 手数料が高い	25.8
6. 手数料体系が複雑	6.1
7. 税金が高い	20.9
8. 値下がりで損をした	36.8
9. 少額投資非課税制度（NISA）の使い勝手が悪い	2.9
10. 夜間に売買を行うことができない	4.3
11. その他（具体的に	2.2
12. 不満に思ったことはない	19.4

※ 回答後、問 40 へお進みください。

(NA:0.9)

【これまでに株式を持ったことがない方に（問 35 で、「3」に○印の方）】

問 39 あなたがこれまで株式を購入しなかったのは、どのような理由からですか。（いくつでも） 【n=5,528】

1. 配当が少なく利回りが低いから	1.9
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	22.5
3. 株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから	14.4
4. 購入手続きが煩雑そうだから	10.6
5. 必要な資金が準備できなかったから	18.7
6. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	25.8
7. 職場における株式売買ルールが厳しいから	0.4
8. 証券会社や証券会社の担当者が信用できないから	1.8
9. 株式市場に良いイメージがなかったから	6.3
10. 損したという人の話を聞いたから	16.6
11. ギャンブルのようなものだと思ったから	25.7
12. その他（具体的に	2.0
13. 購入しなかった理由を考えたことがない	43.2

(NA:0.2)

〔5〕投資信託についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 40 「投資信託」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

1. 投資者から集めたお金をひとつの資金にまとめ、専門家が投資・運用するものである	39.7
2. 証券投資信託を大別すると、公社債投資信託と株式投資信託に分けられる	12.4
3. 取引所に上場し、上場株式と同様に売買ができる上場投資信託（ETF）がある	6.2
4. 投資する有価証券の種類、国・地域、通貨などを分けて投資（分散投資）することでリスクを減らすことができる	11.8
5. 定時定額積立てにより少額で投資する累積投資という方法もある	6.5
6. 昨年 12 月の法令改正により、「運用報告書」が二段階化され、その記載事項の見直しが行われた	1.1
7. 昨年 12 月の法令改正により、投資期間全体の累積損益（トータルリターン）が定期的に通知される制度が導入された	1.9
8. 上記の中で知っていることはない	56.5

(NA:0.8)

問 41 あなたは、これまでに投資信託を保有したことがありますか。（1 つだけ）

また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。

【n=7,000】

1. 現在持っている → 【平均値】 2.3 銘柄	8.7	→ 問 42 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない	4.4	
3. これまでに持ったことがない	86.5	→ 問 46 へお進みください。

(NA:0.4)

【これまでに投資信託を持ったことがある方に（問 41 で、「1」または「2」に○印の方）】

（投資信託を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 42	あなたは投資信託をどこで購入しますか。（いくつでも）	【n=916】
	1. 証券会社の店頭（電話注文を含む）で	43.7
	2. 証券会社のインターネット取引で	10.9
	3. 金融機関の店頭（電話注文を含む）で	43.0
	4. 金融機関のインターネット取引で	5.3
	5. 確定拠出年金制度で	4.0
	6. その他（具体的に	5.7
		(NA:0.7)

問 43	あなたは、投資信託を購入する際に、どのような点を考慮しますか。（いくつでも）	【n=916】
	1. 成長性や収益性の高さ	51.9
	2. リスクの低さや安定性	62.7
	3. 分配金の頻度や運用実績	42.5
	4. 商品内容のわかりやすさ	18.4
	5. 商品のコンセプト（環境に配慮した企業に投資しているなど）	6.0
	6. 手数料や信託報酬の水準	12.8
	7. 評価会社による評価	8.8
	8. 純資産額の大きさ	8.2
	9. その他（具体的に	1.6
	10. 特に考慮している点はない	5.1
		(NA:0.4)

問 44	あなたが投資信託を購入した理由をお答えください。（いくつでも）	【n=916】
	1. 短期の値上がり益を期待して	18.3
	2. 長期にわたっての資産運用として	47.1
	3. 定期的に分配金が受け取れるから	49.1
	4. 積立て投資ができるから	15.3
	5. 比較的少額でも投資できるから	27.6
	6. 分散投資ができるから	15.6
	7. 投資信託の購入を通じて社会貢献ができると考えたから	2.0
	8. 専門家の運用に期待できるから	8.6
	9. 株式に比べて安心なイメージだから	23.6
	10. 少額投資非課税制度（NISA）で資産形成を始めようと思ったから	5.9
	11. その他（具体的に	5.0
		(NA:0.7)

問 45 あなたが投資信託について不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。

(いくつでも)

【n=916】

1. 期待したほどの分配金がなかった	39.3
2. 証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった	16.2
3. 証券会社・金融機関からの連絡に振り回された	4.8
4. 手数料・信託報酬が高い	27.5
5. 手数料体系が複雑	11.5
6. 税金が高い	19.4
7. 証券会社・金融機関の品揃えが少ない	1.9
8. 値下がりで損をした	35.0
9. 少額投資非課税制度（NISA）の使い勝手が悪い	2.4
10. 似たような商品が複数あり、違いが良く分からない	16.6
11. その他（具体的に)	1.4
12. 不満に思ったことはない	14.6

※ 回答後、問 47 へお進みください。

(NA:0.7)

【これまでに投資信託を持ったことのない方に（問 41 で、「3」に○印の方）】

問 46 あなたがこれまで投資信託を購入しなかったのは、どのような理由からですか。（いくつでも）

【n=6,057】

1. 分配金が少ないから	2.0
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	15.0
3. 投資信託の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから	7.1
4. 購入手続きが煩雑そうだから	6.3
5. 必要な資金が準備できなかったから	12.2
6. 商品の仕組みが複雑なため	5.8
7. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	17.9
8. 証券会社・金融機関の担当者が信用できないから	2.0
9. 損したという人の話を聞いたから	8.0
10. ギャンブルのようなものだと思ったから	15.4
11. その他（具体的に)	2.0
12. 購入しなかった理由を考えたことがない	57.0

(NA:0.7)

〔6〕公社債についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 47 「公社債」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

- | | |
|---|------|
| 1. 国が発行する国債、都道府県などが発行する地方債、企業が発行する社債などがある | 46.4 |
| 2. 保有している間は、定期的に利子を受け取れ、満期日に元本が償還される | 18.2 |
| 3. 元利金支払いの確実性（信用状態）を評価した格付けが格付機関により付されているものがある | 7.5 |
| 4. 国債には、1万円から購入できる個人向け国債がある | 18.7 |
| 5. 今年1月に、10年物国債の利回りが過去最低を更新し、0.2%を下回った | 4.1 |
| 6. 平成28年から一定の公社債等の利子・償還差損益・譲渡損益の課税方式が見直され、上場株式等の配当金や譲渡損益と損益通算できるようになる | 1.3 |
| 7. 上記の中で知っていることはない | 49.5 |

(NA:0.7)

問 48 あなたは、これまでに公社債（国債、地方債、社債、転換社債、金融債、円建外債など）を保有したことがありますか。（1つだけ）

また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。

【n=7,000】

- | | | |
|--------------------------|------|------------------|
| 1. 現在持っている → 【平均値】1.4 銘柄 | 3.6 | → 問 49 へお進みください。 |
| 2. 以前持っていたが、現在は持っていない | 5.0 | |
| 3. これまでに持ったことがない | 91.3 | → 問 52 へお進みください。 |

(NA:0.1)

【これまでに公社債を保有したことがある方に（問 48 で、「1」または「2」に○印の方）】

（公社債を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 49 あなたは公社債をどこで購入しますか。（いくつでも） 【n=599】

1. 証券会社の店頭（電話注文を含む）で	43.6
2. 証券会社のインターネット取引で	4.2
3. 金融機関の店頭（電話注文を含む）で	49.6
4. 金融機関のインターネット取引で	1.3
5. その他（具体的に	6.3

(NA:0.5)

問 50 あなたが公社債を購入した理由をお答えください。（いくつでも） 【n=599】

1. 預貯金に比べて利回りが有利だから	64.4
2. 比較的安全だから	66.1
3. 利息が途中で変わらないから	16.5
4. 比較的換金しやすいから	10.2
5. 手頃な金額でできるから	25.5
6. 公社債の購入を通じて社会貢献ができると考えたから	4.7
7. 償還日が資産運用期間として手頃だから	8.2
8. 抽選などによりプレゼントをもらえるから	2.0
9. その他（具体的に	4.5

(NA:0.5)

問 51 あなたが公社債投資で不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。（いくつでも）

【n=599】

1. 期待したほどの利回りがなかった	42.2
2. 証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった	10.9
3. 証券会社・金融機関からの連絡に振り回された	3.2
4. 気配や価格がよくわからない	13.5
5. 税金が高い	10.7
6. 購入したくてもすぐ売り切れてしまい、購入できなかった	3.3
7. 償還前に売却しづらい	10.0
8. 値下がりで損をした	8.0
9. その他（具体的に	1.3
10. 不満に思ったことはない	30.4

(NA:0.3)

※ 20 ページの「〔7〕最後にあなたの状況についてお伺いします。」へお進みください。

【これまでに公社債を保有したことがない方に（問 48 で、「3」に○印の方）】

問 52 あなたがこれまで公社債を購入しなかったのは、どのような理由からですか。（いくつでも）

【n=6,394】

1. 利回りが低いから	5.8
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	7.8
3. 公社債の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから	5.0
4. 購入手続きが煩雑そうだから	5.8
5. 必要な資金が準備できなかったから	11.6
6. 商品の仕組みが複雑なため	3.8
7. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	15.4
8. 証券会社や金融機関の担当者が信用できないから	1.2
9. 損したという人の話を聞いたから	3.7
10. ギャンブルのようなものだと思ったから	8.8
11. その他（具体的に）	1.9
12. 購入しなかった理由を考えたことがない	62.7

(NA:0.4)

※ 20 ページの「〔7〕最後にあなたの状況についてお伺いします。」へお進みください。

〔 7 〕最後にあなたの状況についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

F 1	あなたの性別は。（１つだけ）		【n=7,000】	
	1. 男性	48.2	2. 女性	51.8
	(NA:0.0)			
F 2	あなたの年齢は。（１つだけ）		【n=7,000】	
	1. 20～24歳	5.5	9. 60～64歳	8.6
	2. 25～29歳	6.4	10. 65～69歳	8.6
	3. 30～34歳	6.3	11. 70～74歳	11.3
	4. 35～39歳	8.9	12. 75～79歳	7.9
	5. 40～44歳	8.5	13. 80～84歳	3.9
	6. 45～49歳	8.3	14. 85～89歳	1.2
	7. 50～54歳	6.9	15. 90歳以上	0.2
	8. 55～59歳	7.4		
	(NA:0.0) 【平均値】 53.3 歳			
F 3	配偶者について。（１つだけ）		【n=7,000】	
	1. あり	69.9	2. なし	27.0
	(NA:3.1)			
F 4	あなたのご職業は。（１つだけ）		【n=7,000】	
	1. 自営業主（農林漁業、商工、サービス）			11.8
	2. 自由業（開業医、弁護士など）			0.5
	3. 家族従業者（家業手伝い）			2.0
	4. 常勤雇用（役員・管理職）			6.8
	5. 常勤雇用（非管理職）			22.4
	6. パート・アルバイト・フリーター			16.2
	7. 専業主婦			16.3
	8. 無職・年金のみ			21.5
	9. 学生			1.5
	10. その他（具体的に		）	1.0
	(NA:0.0)			
F 5	あなたの現在の主な収入源はどれでしょうか。（１つだけ）		【n=7,000】	
	1. 給与所得			49.0
	2. 事業所得			8.1
	3. 利子・配当			0.3
	4. 貯蓄の取り崩し			0.6
	5. 家賃・地代			0.6
	6. 恩給・年金			28.6
	7. 特に収入はない			12.0
	8. その他（具体的に		）	0.6
	(NA:0.1)			
F 6	あなたの年収（昨年１年間の税込み収入）はどの位でしょうか。（１つだけ）		【n=7,000】	
	1. 100万円未満	28.0	6. 500～700万円未満	7.0
	2. 100～200万円未満	19.3	7. 700～1,000万円未満	3.4
	3. 200～300万円未満	16.2	8. 1,000～1,500万円未満	1.0
	4. 300～400万円未満	10.0	9. 1,500～2,000万円未満	0.1
	5. 400～500万円未満	7.1	10. 2,000万円以上	0.1
	(NA:7.8) 【平均値】 258.0 万円			

F 7 あなたが現在読んでいる新聞（電子版を含む。）をお答えください。（いくつでも） 【n=7,000】

1. 朝日新聞	13.3
2. 読売新聞	18.7
3. 毎日新聞	4.4
4. 産経新聞	3.3
5. 日本経済新聞	4.9
6. 地方紙	32.3
7. スポーツ新聞	4.1
8. その他（具体的に	3.7
9. 現在読んでいる新聞は特にな	26.6

(NA:0.1)

F 8 あなたがよく読む週刊誌、月刊誌（電子版を含む。）をお答えください。（いくつでも） 【n=7,000】

1. 週刊誌（週刊朝日・サンデー毎日・週刊新潮・週刊文春など）	9.7
2. 経済関係雑誌（週刊ダイヤモンド・週刊東洋経済・週刊エコノミストなど）	2.5
3. マネー関係雑誌（日経マネー・Zai など）	1.5
4. 趣味（旅行、スポーツ、自動車、料理、ファッション、グルメなど）の雑誌	24.0
5. フリーペーパー（R 2 5・L 2 5・ホットペッパーなど）	6.5
6. その他（具体的に	2.0
7. よく読む雑誌は特にな	63.5

(NA:0.6)

F 9 あなたのご家庭での世帯主との続柄をお答えください。（1つだけ） 【n=7,000】

1. 世帯主本人	49.2
2. 世帯主の配偶者	34.7
3. 世帯主の子	12.7
4. 世帯主の親	2.6
5. 世帯主の孫	0.4
6. その他（具体的に	0.2

(NA:0.2)

F 10 あなたのご家庭（世帯）のお住まいは。（1つだけ） 【n=7,000】

1. 戸建の持ち家	73.6
2. その他の持ち家（マンションなど）	6.7
3. 賃貸住宅（公社、民間など）	17.8
4. 給与住宅（官舎、社宅）	0.8
5. 間借り	0.6
6. その他（具体的に	0.3

(NA:0.3)

F 11 あなたのご家庭（世帯）のご家族の人数をお答えください。（1つだけ） 【n=7,000】

1. 1人（単身世帯）	9.3	6. 6人	4.6
2. 2人	26.4	7. 7人	1.9
3. 3人	21.4	8. 8人	0.4
4. 4人	24.0	9. 9人以上	0.2
5. 5人	11.5		

(NA:0.2) 【平均値】 3.3 人

F 12 あなたのご家庭（世帯）の20歳未満のお子さんの人数（働いているお子さんは除く）をお答えください。（1つだけ） 【n=7,000】

1. 0人（いない）	61.7	4. 3人	6.0
2. 1人	14.4	5. 4人	1.0
3. 2人	15.8	6. 5人以上	0.2

(NA:0.9) 【平均値】 0.7 人

※ 回答後、次のページへお進みください。

F13 あなたのご家庭（世帯）のご家族全員の1年間の税込み収入（＝世帯年収）はどの位でしょうか。
（1つだけ）

1. 100万円未満	3.3	6. 500～700万円未満	18.4
2. 100～200万円未満	7.1	7. 700～1,000万円未満	12.7
3. 200～300万円未満	12.5	8. 1,000～1,500万円未満	6.4
4. 300～400万円未満	13.0	9. 1,500～2,000万円未満	1.2
5. 400～500万円未満	12.6	10. 2,000万円以上	0.5

(NA:12.2)【平均値】544.5万円